



2026 年 8 月 5 日

各 位

クオールホールディングス株式会社

クオール、ローソンのまちづくり構想「ハッピーローソントウン」に参画 ～医療・健康・生活を一体的に支える新たな地域拠点を東京都日野市に出店～

全国にクオール薬局等の保険薬局を運営するクオールホールディングス株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：中村 敬）のグループ会社であるクオール株式会社は、株式会社ローソンのまちづくり構想「ハッピーローソントウン」※へ賛同し、ハッピーローソントウンクオール薬局日野高幡台店を出店することをお知らせいたします。クオール薬局のハッピーローソントウンへの出店は初となります。



（オープニングセレモニーには、多くの連携企業・自治体に参加）



（高幡台団地のすぐ側に位置し、先行オープンしたローソンは多くの地域住民で賑わいました）

※ハッピーローソントウン日野高幡台店については[こちらを参照ください](#)

■背景と意義

少子高齢化や人口減少が進む中、地域における医療・介護・生活サービスの継続は大きな社会課題となっています。クオールグループは、「あなたの、いちばん近くにある安心」をスローガンに掲げ、全国で薬局を展開してまいりました。

「ハッピーローソントウンクオール薬局日野高幡台店」は、世代を超えて誰もが幸せに暮らせるまちづくり構想「ハッピーローソントウン」に賛同し出店するものです。コンビニエンスストアと薬局が連携することで、日常生活に寄り添いながら医療・健康・生活を一体的に支える新たな地域拠点として、地域医療への貢献を目指してまいります。

■店舗情報

店舗名	：ハッピーローソントアウンクオール薬局日野高幡台店		
住所	：東京都日野市程久保 650		
提供サービス	：お薬や在宅医療の相談、介護用品の販売 2026 年 9 月 1 日(火)より提供開始予定		
提供設備	：24 時間お薬受け取りロッカー 2026 年 9 月 1 日(火)より提供開始予定		
アクセス	：① 京王電鉄「高幡不動駅」からバス(京王バス)にご乗車し「高幡台団地」でご降車 ② 多摩都市モノレール「程久保駅」から、徒歩約 10 分		
出店日	：ローソン(コンビニエンスストア)	2026 年 8 月 4 日(火)	
	クオール薬局(ローソンに併設)	2026 年 9 月 1 日(火) 予定	

■今後の展望

ローソンは 2030 年までに、全国各地 100 か所にてハッピーローソントアウンクオールを展開する予定としており、クオールグループも、この構想に賛同し、地域に根差した医療・健康サービスを提供することで、住民の皆さまが安心して暮らせるまちづくりに貢献してまいります。薬局は医薬品を提供する場にとどまらず、健康相談やセルフメディケーションの支援、在宅医療への対応など、地域医療を支える重要な拠点としての役割を担っています。

今後は、ハッピーローソントアウンクオールへの出店を積極的に検討するとともに、ローソンとの連携をさらに深め、買い物・健康・医療を身近な場所でワンストップに提供できる環境づくりを推進してまいります。

クオールグループは、地域の皆さま一人ひとりに寄り添い、誰もが安心して暮らし続けられる地域社会の形成に貢献してまいります。

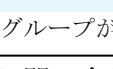
■本取り組みに該当するクオールグループのマテリアリティ（重要課題）

クオールグループは、持続可能な社会の実現に向けて社会・環境問題をはじめとするサステナビリティを巡る課題に対応するため、マテリアリティを設定しています。

そのマテリアリティの一つとして、「地域のクオリティ オブ ライフ向上」をクオールグループは掲げています。医療に携わる企業として、「あなたの、いちばん近くにある安心」をスローガンに、安心・安全な医療を提供し、地域の皆さまの暮らしを支えてまいります。

クオールグループのサステナビリティに関する詳細は、こちらの web サイトをご覧ください。

[\(https://www.qolhd.co.jp/sustainability/\)](https://www.qolhd.co.jp/sustainability/)

ESG課題	マテリアリティ	重要テーマ	関連するSDGs	目標・KPI
E ● 気候変動対応 ● 資源循環 ● 廃棄物管理	気候変動への対応	● 炭素負荷の低減 ● 自然エネルギーの積極活用 ● 医薬品の廃棄削減 ● CO₂排出量の低減 ● 電力使用によるGHG排出の削減		● 温室効果ガス削減率(2030年までに1.7%*) ● グループ全体のGHG排出量 ● ...2050年度末までにGHG排出量(スコープ1・2)をゼロ ● ...2030年度末までにGHG排出量(スコープ1・2)を2023年度比で42%削減 ● レジ利用率率...2030年までに8%以内 / 2050年までに5%以内* *対象：クオール薬
S ● 地域社会への貢献 ● ダイバーシティ推進 ● 製品の品質と安全 ● 人材育成の強化	地域のクオリティ オブ ライフ向上	● 雇用創出 ● 医療従事者への支援 ● 次世代への教育支援 ● 高齢化社会への対応 ● 地域コミュニティへの貢献 ● 市民向け講座の実施		● 地域連携薬局数 ● 専門医療機関連携薬局数 ● 健康サポート薬局数 ● かかりつけ薬局数 ● 健康イベントの開催回数
	社員のクオリティ オブ ライフ向上	● ダイバーシティの推進 ● 人材開発の促進 ● ワークライフバランス推進 ● 福利厚生、労働環境の多様化 ● DX推進による人材の有効活用		● 女性管理職比率 2030年までに50%* ● 男性育休取得率 ● 二次検診受診率 ● えるびし・健康経営の認定継続* *対象：クオール薬
	持続的な医療によるクオリティ オブ ライフへ貢献	● サプライチェーン管理の強化 ● 医療現場を実現する組織力の強化 ● 総合ヘルスケア変革の進化		● 安否確認訓練報告率...100% ● 止水栓による漏水対策 ● BCDの継続改善、実践力の強化 ● 電了おくり手帳
G ● 透明性のある経営と情報開示 ● コンプライアンスの徹底	新しい医療価値の創出	● パートナリシップ事業展開 ● 医療・ヘルスケア分野における新たなソリューションの創出		● 電子処方箋利用率 ● オンライン服薬指導実施率
	コーポレート・ガバナンスの強化	● 取締役会の実効性強化 ● コンプライアンス強化 ● 適切な情報開示と透明性の確保 ● 情報セキュリティの強化 ● BCDの確立		● 社外取締役数 ● 女性取締役数 ● 取締役会評価点数

クオールグループが掲げる 6 つのマテリアリティ（重要課題）

【本件開示に関するお問い合わせ】

クオールホールディングス株式会社 広報部

Tel : 03-6430-9060（お問い合わせ受付時間：平日 9 時～18 時）